

令和5年度 公社等経営評価シート
(対象期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日)

概 要	名称	一般社団法人食の安全分析センター		所在地	宮崎市佐土原町下那珂5805	
	電話番号	0985-45-0328		ホームページ	https://cfsa.or.jp	
	設立年月日	平成27年10月27日	代表者	代表理事 水光正仁	県所管部・課	農業普及技術課
	総出資額	一千円	県出資額	一千円	県出資比率	—
	設立目的	残留農薬や食品の機能性の受託分析業務、関連分野の受託研究を通して、県産農畜水産物の安全性の確保や高付加価値化を進める。				
	特記事項					

内容		令和3年度	令和4年度	令和5年度
①公社等のあり方見直し	今後の方向性について検討	短・中長期的な検査や経営の安定化について関係者の連携の下に検討(実績)	短・中長期的な検査や経営の安定化について関係者の連携の下に検討を実施(実績)	県内産業発展のための分析ニーズへの対応、経営の安定化や県財政支援の低減の検討(計画)
②公社等の経営見直し	経営・事業運営改善	当該法人から定期的な報告を受け、助言・指導を実施(実績)	当該法人による定期的な報告と、それに対する助言・指導を実施(実績)	定期的な打合せにおける当該法人からの経営計画の報告による進捗管理及び指導(計画)
	財務改善	残留農薬の受託件数拡大に向けた営業活動や分析成分の拡大等を実施(実績)	受託件数拡大に向けた営業活動や残留農及び機能性成分の分析技術の向上・メニュー拡大を実施(実績)	受託件数拡大に向けた農薬及び機能性成分の分析技術の向上・メニュー拡大(計画)
	組織等適正化	安定的かつ持続的な検査体制のため人材育成として専門研修を実施(実績)	安定的かつ持続的な検査体制のため人材育成としてOJTや専門研修への参加を実施(実績)	安定的かつ持続的な検査体制のため人材育成としてOJTや専門研修に参加(計画)
③県と公社等の関係見直し	人的支援見直し	当該法人との意見交換を実施し、安定的な検査体制の確保・維持を考慮した中で今後の方向性を検討(実績)	当該法人との意見・情報交換を実施し、安定的な検査体制を確保・維持した中での見直しについて検討(実績)	当該法人との意見・情報交換を実施し、安定的な検査体制を確保・維持した中での見直しについて検討(計画)
	財政支出見直し	事業実施に要する資金の確保や分析・研究に必要な経費等の抑制について検討・実施(実績)	外部研究資金の確保や、事業及び研究の実施に必要な経費削減等の実施(実績)	外部研究資金の確保や経費削減等を含めた財政支出の見直し(計画)
④情報公開推進	ホームページによる情報公開の充実	情報の充実等を実施(実績)	情報公開や検索順位向上のため大幅なりニューアルを実施(実績)	ホームページによる情報公開の充実(計画)

県 関 与 の 状 況	人的支援	(人)	令和4年度				令和5年度				
			合計	県職員	県退職者	左記以外の者	合計	県職員	県退職者	左記以外の者	
			役員数	10	1	3	6	10	2	2	6
			常勤	1	0	1	0	1	0	1	0
			非常勤	9	1	2	6	9	2	1	6
職員数	3	2	0	1	3	2	0	1			
財政支出等	(千円)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度				
		県委託料	6,700	6,600	7,700	県借入金残高	0	0	0		
		県補助金	9,506	10,559	11,204	県の損失補償契約等に基づく債務残高	0	0	0		
		県交付金・負担金・出資金	0	0	0	県職員人件費(県支給分)	6,520	8,381	8,615		
		その他の県からの支援等									

主な 県財政 支出の 内容	事業名	事業内容	令和4年度 決算額(千円)	令和5年度 予算額(千円)	種別	
	①	高度科学分析技術を活用した本県農水産業の技術支援業務委託	研究員1名を配置し、県などが開発した超臨界流体分離質量分析技術を活用した分析・研究を実施。	7,700	0	委託料
	②	持続可能なみやざきグリーン農業構築事業	農業の適正使用を推進するため、県内農産物の残留農薬分析を促進。	6,207	7,200	補助金
	③	植物防疫強化対策事業	常務理事を配置し、植物防疫行政の補完的業務を担う同センターの運営強化を図る。	4,997	4,997	補助金
	④					
⑤						

実施 事業	①農畜水産物及び食品の受託分析及び受託研究に関する事業 ②宮崎県の農畜水産物及び食品関連産業の発展に資する事業
----------	------------------------------------------------------------

活動 指標	指標名	算式(単位)	令和4年度			令和5年度	令和6年度	
			目標値	実績値	達成度(%)	目標値	目標値	
	①	残留農薬分析受託件数	(件)	400	525	131.3%	460	545
	②							
③								
指標の設定に関する 留意事項								

財務 状況	正味財産増減計算書 (千円)			貸借対照表 (千円)			
	令和2年度	令和3年度	令和4年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度
	23,248	32,181	39,222	資産	7,087	8,030	9,795
	28,346	27,816	35,068	流動資産	4,353	6,037	9,463
	-5,098	4,366	4,154	固定資産	2,734	1,993	332
	0	0	0	負債	7,068	3,646	1,257
	0	0	0	流動負債	674	588	1,257
	0	0	0	固定負債	6,394	3,058	0
	-5,098	4,366	4,154	正味財産	18	4,384	8,538
	5,116	18	4,384	指定正味財産	0	0	0
	18	4,384	8,538	(うち基本財産への充当額)	0	0	0
	0	0	0	(うち特定資産への充当額)	0	0	0
	0	0	0	一般正味財産	18	4,384	8,538
	0	0	0	(うち基本財産への充当額)	0	0	0
	18	4,384	8,538	(うち特定資産への充当額)	0	0	0

※千円未満を四捨五入して表示しているため、合計の金額と一致しない場合があります。

財務 指標	指標名	算式(単位)	令和4年度			令和5年度	令和6年度	
			目標値	実績値※	達成度(%)	目標値	目標値	
	①	県補助金等比率	(県委託料+県補助金) / 当期収入 計 × 100 (%)	40.0	48.2	79.5%	40.0	40.0
		※ 令和4年度 実績値の算式	(7,700千円+11,204千円) / 39,222千円					
②								
	※ 令和4年度 実績値の算式							
③								
	※ 令和4年度 実績値の算式							
指標の設定に関する 留意事項								

直近の県監査 の状況	
---------------	--

総合評価	公社等 自己評価	当センターでは、最新の分析技術による残留農薬や機能性成分の受託分析等を実施しており、令和4年度は、ニーズに応じた分析メニューの拡大や専門家を交えた経営戦略の検討、HPの大幅リニューアルによるPR強化などに積極的に取り組み、受託分析件数は増加し、本県農水産物の付加価値向上や輸出促進等による本県産業の振興に貢献した。今後も、農業はもとより本県産業の振興を分析技術等により支えるとともに、センターとしても経営の安定・発展をさらに進めていきたい。				県所管部課 二次評価	当該センターは県産農畜水産物の安全性の確保や分析に基づく付加価値の向上など、県内農畜水産業者並びに食品関連事業者等に貢献することが期待される。 活動内容では、輸出に必要な分析成分拡大等のニーズに関する対応や、関係者と連携した財務状況の改善に係る短期及び中長期的な経営戦略の検討などに組み込まれており、今後、一層の安定的な経営が望まれる。																
	評価 (A.良好、Bほぼ良好、Cやや課題あり、D課題多い)	改革工程 B	活動内容 A	財務内容 B	組織運営 B	評価 (A.良好、Bほぼ良好、Cやや課題あり、D課題多い)	改革工程 B	活動内容 A	財務内容 A	組織運営 A													
	目標 達成度	<table border="1" style="display: none;"> <caption>目標達成度</caption> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>達成率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>活動指標①</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>活動指標②</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>活動指標③</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財務指標①</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>財務指標②</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財務指標③</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>				指標	達成率 (%)	活動指標①	100	活動指標②	100	活動指標③	0	財務指標①	60	財務指標②	0	財務指標③	0	公社等改革 推進委員会 三次評価	活動内容について、受託件数が昨年度より大きく増加し、目標を達成していることについて評価できる。 財務内容については、昨年度に引き続き経常黒字となっているが、十分な資本を確保できている状況ではないため、今後も継続して健全な財務運営が求められる。 今後も、県産農畜水産物の安全性の確保や高付加価値化のための事業を効果的に実施するとともに、再建計画を確実に実現し、早期の経営の自立化に向けた取組が求められる。		
指標	達成率 (%)																						
活動指標①	100																						
活動指標②	100																						
活動指標③	0																						
財務指標①	60																						
財務指標②	0																						
財務指標③	0																						